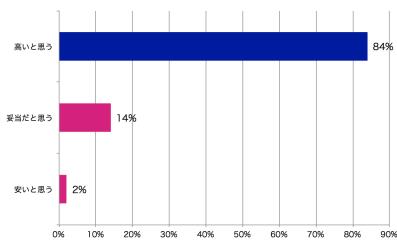


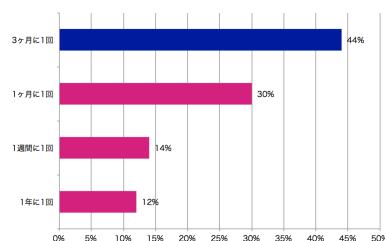
英語能力テスト（TOEIC、TOEFL、英検など）の受験料「高い」と84%が回答 海外留学のEF、英語能力テストに関する意識調査を実施

留学・語学教育事業を展開する世界最大級の私立教育機関、イー・エフ・エデュケーション・ファーストの日本法人であるイー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社（本社：東京都渋谷区渋谷 2-15-1 以下、EF）の研究機関、EF 留学総合研究所は、2015年12月23日（水）、twitter のアンケート機能を利用し、英語能力テストに関する意識調査（対象者：海外留学の EF 公式 twitter アカウントをフォローしているユーザー）を実施致しました。

現在公開されている有料の英語能力テスト（TOEIC、TOEFL、英検など）の受験料について
あなたは金額が高いと思いますか？それとも妥当だと思いますか？それとも安いと思いますか？
(n=733)



ご自身の英語能力はどれくらいの頻度で測定すべきだと考えますか？
英語テストを受験する理想的な頻度とは (n=652)



調査機関：イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社、EF留学総合研究所

調査機関：イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社、EF留学総合研究所

調査の結果、現在公開されている有料の英語能力テスト（TOEIC、TOEFL、英検など）の受験料に対し、回答者の 84%が「高い」と回答し、妥当であると回答した割合は、わずか 14%であることがわかりました。 (n=733)

また自身の英語能力をどれくらいの頻度で測定すべきかといった項目では、回答者の 44%が「3ヶ月に 1 度」は自身の英語能力を測定すべきである回答し、また、回答者の 30%は「1ヶ月に 1 回」は測定すべきであると回答しました。 (n=652)

今回の調査結果を受け、EF 留学総合研究所の上席研究員、小池浩（こいけ ひろし）は次のようにコメントします。「今回の調査結果から、多くの方が“1ヶ月に 1 度”、ないし、“3ヶ月の 1 度”は、自身の英語能力を測定すべき（合計 74%）と回答しており、英語学習意欲、または、英語能力に対する問題意識を持っていることが伺えましたが、その一方、現状利用されている有料の英語能力テストは、その受験料に大きなバリアがあるようです。英語能力を向上させるために、適度な能力測定は欠かせません。低成本、かつ、適切に英語能力を測る評価方法、英語能力テストが求められています。」

EF は 2014 年 9 月から、無料オンライン標準英語能力テスト『EFSET』を全世界で同時に公開しております。この EFSET は CEFR（ヨーロッパ共通言語参考枠）に適応しており、また受験者の回答内容に合わせて出題問題を変えることができる、コンピューター適応型マルチステージ・テスト・エンジンを実装しております。

現在、EFSET は 2016 年 ブラジル・リオデジャネイロ五輪のボランティアスタッフの英語能力を測定するために活用され、LinkedIn とも連携をしている英語能力テストです。

無料、かつ、オンラインで受講できるため、より多くの英語学習者に利用頂きたいと考えております。

- EFSET 公式ページ（日本語）：<https://www.efset.org/ja/>



イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社について

1965 年に、Education First 『教育を第一に』をモットーにスウェーデンで設立した、イー・エフ・エデュケーション・ファーストは、世界最大級の私立教育機関です。現在では世界 53 カ国以上に 500 を超える事業拠点、及び、直営語学学校を擁し、グローバルに教育事業を展開しています。同社は、言語教育、留学、オンライン英語学習、ビジネススクールなど、さまざまなプログラムを提供しています。また、2016 年リオデジャネイロ・オリンピックおよびパラリンピックの公式語学サプライヤーに認定されています。

イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社はイー・エフ・エデュケーション・ファーストの日本法人として 1973 年に設立されました。

【EF 公式サイト】<http://www.efjapan.co.jp>

本件のお問い合わせについて

イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社 担当：平尾

TEL : 03-5774-6206 Mail : satoshi.hirao@ef.com